

宮崎電子機器のDX推進の取り組み

目まぐるしく変化する時代のニーズや環境に合わせて柔軟にビジネスモデルや業務プロセスを変化させていくことが求められております。

宮崎電子機器では言行一致で得られた気付きや価値を、お客様の課題やニーズ、オフィス空間や働き方に合わせ、最適なICTツールやソリューションをご提案することでDX推進のサポートをしております。



<https://www.sp2.or.jp/dxmark/>

2022年に宮崎県内初の「DXマーク認証」を取得しました。

社内問い合わせ対応を効率化したい

課題



- 社内の様々な問い合わせがバックオフィス部門に集中しており、その都度業務がストップし、生産性の低下を招いていた
- グループウェアや社内サーバーなど、至るところに情報が散らばっており、欲しい情報を見つけるのに時間が掛かっていた

“チャットボット”で 社内ヘルプデスクを構築

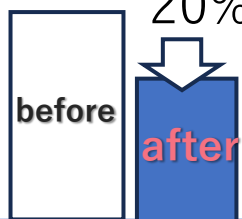
活用した ICTツール

生成AI搭載チャットボット (officebot)

- ・ 既存の社内データとChatGPTを活用し、社内の問い合わせをofficeBotが自動回答

after

バックオフィスへの
問い合わせ 20%^{down}



導入効果

- バックオフィス部門への問い合わせが減り、負担が大幅に軽減された
- 社内の欲しい情報が直ぐに見つかり、短時間で必要な情報を集めることができるようになり、業務効率がUP
- メール文面作成や商品のセールポイント要約など、AI活用による時短効果で生産性が向上！生成AIに触れる機会にも繋がった

年々増える商品・サービス知識を効率良く学びたい

課題



- 取り扱い商品・サービスが年々増えて知識習得が追い付かない
- 研修を実施するが、知識がなかなか定着しない
- 日常業務が忙しく、研修に割く時間が取れない

“動画学習プラットフォーム”で
いつでもどこでも学べる環境を構築

活用した
ICTツール

eラーニングシステム (learning BOX)

- ・ 3分前後の自社オリジナル動画に学んで欲しいポイントを集約
隙間時間にいつでもどこでも繰り返し学習できる仕組みを構築

after



導入効果

- オンラインでの自学習が定着し、学習の機会が増えた
- 繰り返しの学習や確認テストで、知識が定着してきた
- 各個人の学習状況を把握でき、知識の平準化につながってきた

紙で作成していた契約書を電子化へ

課題



- 契約書作成に工数が掛かり、営業の手元に届いてから捺印・回収までに、“約一週間”掛かっていた
- 契約書保管スペースの確保が課題となっていた

“電子契約サービス”を活用し、
契約業務を簡単にオンラインで完結

活用した ICTツール

電子契約サービス（freeサイン）

- ・ 契約書作成の工数削減と回収までに掛かる日数の大幅短縮を実現
契約書の保管・管理も簡単に！

after

Before 約1週間

after
1日

契約書作成から回収までの
日数が大幅短縮！

導入効果

- お客様と管理部門間のメールで契約が完結
最短1日で作成から回収までが完了
- 営業は回収業務に充てていた時間を別業務へ
- クラウド上にデータ保管される為、保管スペースが不要に！